

■今村紫紅 近代日本画の新生面を切り開き、豪放磊落な性格をもって後進を指導したが、早世した。

いまむらしこう

・ ・ ・ ・ ・ 1880 = 横浜市に生まれる。名は寿三郎。家業は輸出向けの提灯商であった。

明治14年政変 1881 = 1歳 :

帝国大学始 1886 = 6歳 : 町立横浜小学校に入学。

帝国憲法発布 1889 = 9歳 :

日清戦争始 1894 = 14歳 : 横浜市立尋常高等小学校を卒業。家業を手伝う。

日清戦争終 1895 = 15歳 : この頃、英国風の水彩画の手ほどきを受ける。

八幡製鉄始 1897 = 17歳 : 上京して松本楓湖の塾に入る。

子規句歌革新 1898 = 18歳 : *自ら紫紅と号する。日本美術協会展に「簞の梅」を出品して、初入選。

Bushidou 1899 = 19歳 : 第7回日本絵画共進会で「樹陰避暑」が2等。この頃、大和絵の模写を盛んに行う。

ピアノ国産化 1900 = 20歳 : 第8回日本絵画共進会で「絡駅」が2等。

田中正造直訴 1901 = 21歳 : *安田靉彦らと紅児会を組織し、次々と出品して新しい歴史画の開拓に努める。

教科書疑獄 1902 = 22歳 : 日本絵画協会に入会。

日比谷公園 1903 = 23歳 : 父が死去。

日露戦争終 1905 = 25歳 : 異画会委員に選ばれる。

満鉄発足 1906 = 26歳 : 異画会評議員になり、後進を指導。

韓国反日暴動 1907 = 27歳 : 結婚。安田靉彦の仲介で五浦の日本美術院研究所に参加。国画玉成会に参加、評議員。岡倉天心の指導を受け、横山大観、菱田春草、下村観山らの制作ぶりを見て啓発され、

韓国併合 1910 = 30歳 : *紅児会に出品した「政宗」、異画会の「説法」あたりからおおらかな独特の画風を示した、

明治天皇没 1912 = 32歳 : 第6回文展に南画の技法に印象派の色彩表現をとり入れた新解釈の「近江八景」を発表、世の注目を引く。この年から原富太郎邸での古画名品鑑賞の会合に参加。

大正政変 1913 = 33歳 : 紅児会を解散し、私的な交流のため木染会をつくる。

第一次大戦始 1914 = 34歳 : インドを旅行し、帰国後再興日本美術院の同人となる。第1回院展に「熱国の巻」2巻を発表、近代日本画の新生面を切り開く。また、速水御舟、小茂田青樹らと赤曜会を組織して野外展を催すなど、豪放磊落な性格をもって後進を指導。

21ヶ条要求 1915 = 35歳 : *酒を好み、突然卒倒。以後、禁酒をするが、

民本主義 1916 = 36歳 : 脳溢血の発作を起こして没した。自我の表現を主張、現代画に通じる道を開いた役割は大きく、大正デモクラシーの先駆をなす生涯であったともいわれる。